

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社めぐみ	代表者	坂本慎吾	法人・事業所の特徴	利用者個別の状況に応じ、通所、訪問、宿泊を組み合わせた柔軟な支援を行っている。 自宅を改造し、地域の中で家庭的な雰囲気での支援を行っている。 利用者だけでなく、地域の方々にも気軽に相談できる場所として運営を行っている。
事業所名	小規模多機能型居宅介護めぐみ	管理者	大森裕志		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	7人	1人	1人	0人	人	1人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	① 従来通り、開始初期はミーティングを重ね、申し送り・記録・フェースシートにその内容を記載し、各自確認する。	①・利用開始に当たってはケアマネが情報や必要な支援などまとめ記載、周知している。 ・ミーティングや申し送りで皆で情報の共有をしている。 ・空いている時間にフェースシートを読み、記録も読んでいる。 ・職員会を利用し様子を報告。訪問や通所での様子を見て検討し支援ができています。 ・支援を開始する前に家族、本に面接を行い情報収集をしており、その情報について申し送り時に共有したり、申し送り、記録、フェースシートを各自確認している。	・問題点の洗い出しが実施され、改善に向けた計画が練られていると思う。 ・一つ一つ改善されており、努力がうかがえる。誠実な対応に感謝 ・適切な運営が実施できていると思う	① 開始初期はミーティングを重ね、申し送り・記録・フェースシートにその内容を記載し周知を続ける。

	<p>② フェースシート、個別援助計画に知りえた思いを記入し、都度周知行う。フェースシートのファイルを作りすぐ読める位置に置く。</p> <p>③ フェースシートが活用しやすく、読みやすくする為にフェースシートのファイルを作りすぐ読める位置に置く。</p> <p>④ 各種イベントは状況を見て参加する。運営推進会議はコロナ禍が落ち着くまでは真穴地区公民館で開催し、対面式の会議をできるだけ維持していく。</p> <p>⑤ 利用者、家族の要望に応じた</p>	<p>②・申し送りノートに個別援助計画の内容を記入し共有し実践している</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フェースシートに知りえた思いの記入などが細かく記入できており周知も出来ている。フェースシートのファイルも1階に置きすぐ読める位置にある。</li> </ul> <p>③・1階にフェースシートのファイルを作り、すぐ読める場所に置いたので活用しやすくなった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別評価表のファイルにフェースシートが一緒に入った為、既往歴などすぐ調べることができるようになった。</li> </ul> <p>④・令和4年度は11月、3月と真穴地区公民館で運営推進会議を開催。令和5年度も継続して公民館で開催し、対面の会議を実現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議を通じ、民生委員との情報交換や独居の人の報告など情報交換が行えている。</li> </ul> <p>⑤・柔軟な対応はできている</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急な依頼でもできるだけ即時対</li> </ul>		<p>② フェースシート更新時周知を行い、各職員必ず読む。</p> <p>③ 支援内容、本人の様子を記録、ミーティングを通じ支援内容を共有し対応していく。</p> <p>④ 地域の方との情報交換の為に、運営推進会議は出来るだけ書面開催ではなく対面式の会議を維持していく。その為に会場を継続して真穴地区公民館で行う。</p> <p>⑤利用者、家族の要望に応じた柔</p>
--	--	---	--	--

	<p>柔軟な支援を今後も続けていく</p> <p>⑥ コロナの状況を見ながら利用者の地区イベント参加や職員の派遣など適宜参加していく。</p> <p>⑦ 各種イベントは状況を見て参加する。運営推進会議はコロナ禍が落ち着くまでは真穴地区公民館で開催し、対面式での会議をできるだけ維持していく。</p> <p>⑧ 研修会の参加はコロナ禍により困難なため各職員の目標に則した youtube 動画を提供し各職員の自己研修を実施。研修報告を職員会で報告し共有していく</p> <p>⑨ 引き続き業務上の職員間の情</p>	<p>応できるようにはしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊の依頼や利用日の変更など柔軟に受け入れている。</li> </ul> <p>⑥・地域の「ももの会」、「食生活改善推進会」のメンバーとして可能な範囲で参加し、地域の人との連携や情報収集に努めている</p> <p>⑦・運営推進会議の会場を公民館にすることで対面での会議を開催できている。出席された方から様々な意見をもらっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・真穴地区公民館で対面式にて実施し、意見交換などができている。</li> </ul> <p>⑧・自分の興味ある講演会や勉強会には参加した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加された方が職員会で報告できている。それにより職員間での共有は図れている。</li> <li>・看護師試験に向け勉強し試験資格を得ることができた。</li> </ul> <p>⑨・事業所内の広さが限られており、どうしても利用者が近くにいることがあるため申し送り時等</p>		<p>柔軟な支援を今後も続けていく</p> <p>⑥・地域のイベントに積極的に参加していく。また必要に応じ民生委員と連携し対応する。</p> <p>⑦真穴地区公民館での運営推進会議の開催を継続する</p> <p>⑧・研修への積極的な参加を促す。また諸事情などにより参加が難しい場合 youtube での動画視聴を行い研修方向を行う。</p> <p>⑨ 引き続き業務上の職員間の情</p>
--	--	---	--	---

	報交換は利用者の傍で行わぬことを徹底する	情報交換が聞こえてしまう時がある。なるべく声を小さくしたり具体的な名前を言わないようにしているが利用者の傍で行わないことを徹底することは構造的に難しい。		報交換は利用者の傍で行わぬことを徹底する
B. 事業所の しつらえ・環境	R5年5月にコロナが5類に移行するが、引き続き、消毒・定期的な換気、検温など徹底し感染予防に努める。	朝・昼・夕・夜間に事業所内利用者、職員が触れる手すりなど・椅子、テーブル全て消毒液で拭く。定期的な換気、利用者、職員、来客の検温、手指消毒、マスク着用を継続して実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切に運営できていると思う</li> <li>・推進委員の中でもめぐみに来たことがない人がいるので、見学の手配など設けたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、消毒・定期的な換気、検温など徹底し感染予防に努める。</li> <li>・推進委員のめぐみ見学の機会を持つ</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	見守り隊、民生委員、地域の方々と互いに連絡を取り合える今まで培われてきた関係を維持していく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進会議を通じて、地域の方と連絡を取り合ったり、事例に応じて民生委員の方々と協力することができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推進会議を定期的開催し、細かく報告していただき、活動がよくわかる。</li> <li>・事業所と地域の関りは強いと思う</li> </ul>	見守り隊、民生委員、地域の方々と互いに連絡を取り合える今まで培われてきた関係を維持していく
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを支える取組み	地区内の商店への買い物や近所への散歩、ドライブなど利用者と地域に出る機会を増やし、利用者と地域のつながりを維持する。5月以降状況を見ながら行事への参加なども検討していく	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事への参加はコロナ禍の影響もありほぼできなかった</li> <li>・利用者以外の方への直接的な関わりは難しい場合もあるが、推進会議や地区の方と対応を相談することは続けていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナも5類になったので、地域のイベントに参加してもいいと思う</li> <li>・1月にふれあい祭りやお伊勢踊りなどがある。地元の利用者も多いとのことなので見に行ってみようか？</li> <li>・事業所の受け入れに限度があるので、利用者以外への関りまでは必要ないと思う。</li> </ul>	感染症の状況を見ながら、地域の行事への参加ができるよう図る。参加する際、事業所の人員のみでの対応が困難な場合、地域の方の助力も検討する

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>地域の中で心配な方やその時々 の懸念事項などについて意見を 交わせる現在の形を維持してい く。 真穴地区公民館に協力していただ き、令和5年度は公民館で開催 し対面での会議を行っていく</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月、7月、11月、1月、3月と公民館で開催。</li> <li>・都度、様々な立場の方と意見交換を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議に参加することで新しい情報を取り入れることができているので非常に有意義なものになっている。</li> <li>・地区公民館で広い空間での会議。コロナ対策としてもよいと思う</li> </ul>	<p>当面、公民館での開催を継続。 地域の方々と情報交換できる現在の形を維持する。 感染症の状況を鑑みながらめぐみでの開催も検討していく。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>R4年10月の避難訓練の際水消火器により模擬消火訓練を経験。通報機器同様消火器の操作に不慣れな様子みられたため、・通報機器取扱訓練と重ねて消火器取扱訓練も実施し</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月、10月に避難訓練実施。</li> <li>・偶数月には通報機取り扱い訓練、水消火器取り扱い訓練を実施。</li> <li>・全職員が実施できるよう対応しているが、2月現在通報機器が故障しており12月以降行えていない。復旧次第実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消火訓練、避難訓練など実施され改善がみられている。</li> <li>・防災対策については、これだけしたから大丈夫という基準はあっていないようなものなので、日ごとの想定訓練が重要になってくる。これからも続けてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月、10月に避難訓練、偶数月に通報機器取扱訓練、水消火器取扱訓練を実施。職員全員が落ち着いて対応できるようになる。</li> <li>・「事業所の防災訓練に参加したことがありますか」は「いいえ」が多くついている。次年度は訓練日程を推進委員メンバーに告知。一緒に訓練を行うことができるよう図りたい。</li> </ul>